

ちようなん ぎかい

第163号
2018

5

議会だより

第7回 さくらまつり ～野見金公園～

平成30年4月1日長南フォトクラブ撮影

第1回定例議会

- 新年度予算に不妊治療費や
妊婦健診への助成 など …… 2
- 新規条例などを制定 …… 5
- ここが聞きたい！7人の議員が一般質問 … 10～17

平成 30 年度一般会計予算

43億5600万円

《前年度比0.4%減》

第 1 回 定例議会

不妊治療費や妊婦健診への助成

笠森駐車場トイレ整備や
道路・橋梁修繕費
などを計上

平成30年第1回定例議会は、3月1日に招集され9日までの9日間の会期で開きました。

この議会では、平成30年度当初予算をはじめ、平成29年度補正予算、条例の制定・一部改正など計34議案を審議しました。平成30年度一般会計予算は、内容が複雑多岐にわたるため予算特別委員会を設置し、詳細な審査を行いました。

審議の結果、全議案原案のとおり可決しました。

また、一般質問は7人の議員が行いました。

会計別当初予算内訳表

会 計			平成 30 年度予算額 (千円)	伸び率 (%)
一 般 会 計			4,356,000	△ 0.4
特別会計	国 民 健 康 保 険		1,128,700	△ 15.6
	後 期 高 齢 者 医 療		115,900	7.3
	介 護 保 険		1,049,000	△ 0.2
	笠 森 霊 園 事 業		64,000	1.1
	農 業 集 落 排 水 事 業		210,200	△ 0.2
一般会計・特別会計 合計			6,923,800	△ 3.1
企業会計	ガス 事業	収 益 的 収 入	692,544	2.1
		収 益 的 支 出	688,058	2.0
		資 本 的 収 入	34,104	△ 7.2
		資 本 的 支 出	228,624	5.9

予算特別委員会を設置 《平成30年度一般会計予算》 各分科会で慎重審議

予算特別委員会は3月6日に議長を除く13名で設置しました。総務・産業建設・教育民生の3分野に分けた分科会を設置し、3月6日及び7日に執行部の出席を求め、書類審査と現地調査を行いました。3月9日に各分科会の審査結果の報告を求め、次の意見・要望を付し、平成30年度一般会計予算は賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決定しました。

(委員長 御園生明)
(副委員長 松崎剛忠)

意見・要望事項

1 歳入の大宗を占める町税の総額は、昨年度に比較し1500万円余りの減額となっています。

厳しい経済情勢のなか、県下でも高い

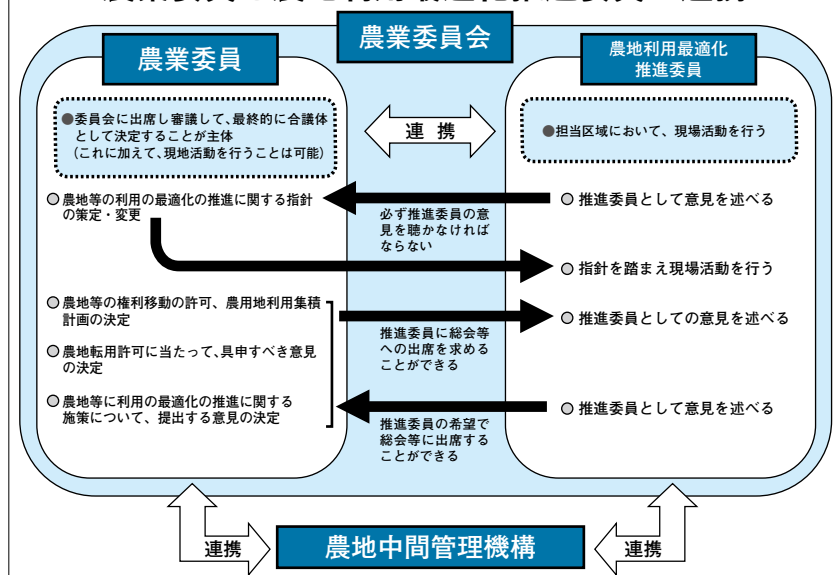
徴収率となっており、引き続き自主財源の確保に努められたい。

2 地域住民が自主的に連帯して防災活動を行う自主防災組織は、災害時における「共助」の要となるものです。

災害に備えた地域防災力の向上を図るためにも、自主防災組織の結成促進に努められたい。

3 『長南町まちづくり町民提案事業』については、平成27年度からの地方創生事業によるスタートであるが、3年を経過し自主的・主体的事業の醸成が見込まれ、ある程度の目標を達成した団体も見込まれると思料されるので、第4年次の事業採択については十分なる精査・審査に努められたい。

農業委員と農地利用最適化推進委員の連携



4 農業委員会等に関する法律の改正に伴う農業委員及び農地利用最適化推進委員の新体制に向けては、円滑な移行と周知に努められたい。

5 観光事業については、町観光施設の利便性向上とイベント企画の充実を図り、

町の魅力を広く発信することにより、さらなる観光入込客数の増加に努められたい。

6 橋梁修繕事業については、点検結果により策定された修繕計画に基づき、効果的な修繕工事を早期に実施し、安全確保

に努められたい。

7 町民の健康づくりについては、平成30年度より健康保険課が設置されるにあたり、町民の自助、互助による健康意識を高め、町全体で健康増進に取り組めるように努められたい。

8 土曜補習授業については、意欲のあるすべての子どもたちに学習の機会を提供できるよう、関係各課と連携して準備を進めるとともに、開始後もその内容の充実を図られたい。

9 郷土の偉人（渡邊辰五郎）記念館事業については、本事業の趣旨を理解してもらうためにも、住民への周知の徹底を図り、住民の意見を十分に反映させた上で、迅速かつ的確に対処されたい。

討論

議会の会議において、採決の前に議題となっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明することをいいます。討論の目的は、単に賛否の意見を明らかにするだけでなく、まだ賛否を決定していない議員及び意見の異なる議員を自己に賛同させることにもあります。

平成30年度一般会計予算

反対

和田 和夫議員

町民への働きかけ、周知が不十分

渡邊辰五郎記念館事業は町民への働きかけ、周知が不十分で、町長が目指す「町活性化」の事業にはまだ距離があると思えます。町民の意見を聞く機会を広くもって、必要があり、予算に反対します。

賛成

松崎 剛忠議員

住民の福祉向上に資する事業展開が見込める

本予算は、道路、橋梁修繕などのインフラ整備、不妊治療費助成など新たな事業が盛り込まれ住民の福祉向上に資する事業展開が見込めます。予算特別委員会の審査過程で出された意見に適正な対応、取組みを期待し、本予算に賛成します。

平成30年度一般会計予算

反対

森川 剛典議員

赤字の蓄積が心配

渡邊辰五郎記念館事業は収益構造に不確かな部分が多く、自立できるとは思えません。逆に著しい赤字の蓄積が心配されます。住民や町民に、そのリスクを十分説明して、理解や合意形成のもとに進めるべきと考え、それを含む予算に反対します。

賛成

大倉 正幸議員

総合戦略の施策である事業を実施

自主財源の確保が厳しさを増す中、地方創生総合戦略の施策である各種事業を行い、活力ある町であり続けるための予算編成と考えられます。よって、本予算に賛成します。

反対

加藤 喜男議員

本事業での「町おこし」は疑問

渡邊辰五郎記念館事業は、町民の要望もなく、建設費の概算、開館後の運営計画も示されない。5年後に自立を目指すとしているが、人件費すら賄えず、町からの恒常的な補てんは現実と思われる。この事業が含まれる予算には反対です。

賛成

丸島 なか議員

執行部の熱意と努力が伺える

町の活性化と街中の賑わいを取り戻すべく進めている記念館事業であり、一般会計全体を見ても年々厳しさを増す財政状況の中、住民の福祉向上に寄与する事業が計画され、執行部の熱意と努力が伺える。よって、本予算に賛成します。

平成30年度国民健康保険特別会計予算

反対

和田 和夫議員

子どもの均等割をなくすべき

国保税は収入のない子どもたちも一人分の均等割がかけてられています。子育て支援策として18歳未満の均等割をなくすべきと考え、予算に反対します。

賛成

河野 康二郎議員

健康を守り、皆保険の維持を

平成30年度より国民健康保険は、県が財政主体となる新たな仕組みとなります。安心して医療が受けられるように国保加入者が保険税を出し合う制度です。健康を守り、国民皆保険の根幹を維持するための予算であるので賛成します。

平成30年度後期高齢者医療特別会計予算

反対

和田 和夫議員

基金を活用し保険料の引き下げを

均等割が600円値上げに、所得割が0.04ポイント引き下げられ、一人当たりの保険料は878円値上げされました。県の財政安定化基金を活用し、加入者の負担を減らすべきと考え、予算に反対します。

賛成

丸島 なか議員

後期高齢者医療制度を維持し、運営する予算

本予算は、県後期高齢者医療広域連合において全県下を見据えた中で示された額に基づき、予算編成されていることから本予算に賛成します。

平成30年度介護保険特別会計予算

反対

和田 和夫議員

制度の充実を国に強く求めて

町としての介護福祉に対する努力を評価しつつ、制度の後退ではなく、充実を国に強く求め、町も独自のサービス充実、負担軽減を求めて、予算に反対します。

賛成

河野 康二郎議員

持続可能な保険運営に配慮

本予算は、年々増加する介護や支援を必要とする高齢者へ安定した介護給付やサービスが提供できるように、予算編成されています。基金を有効活用し、保険料を抑制するなどの持続可能な保険運営と配慮がされ、適正であることから本予算に賛成します。

条例関係

《新規制定》

●長南町放課後児童クラブ設置条例

放課後児童クラブの新設に伴い、名称、位置等を示す条例を新たに制定するものです。

●長南町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例

医療介護総合確保推進法の制定による介護保険法の改正により新たに条例を制定するものです。

●長南町農地中間管理機構関連土地改良事業に係る特別徴収金に関する条例

土地改良法の改正に伴い、農地中間管理機構が賃借権等取得した農用地を対象とする土地改良事業について、特別徴収金を徴収することを定めるため、新たに条例を制定

するものです。

《一部改正》

●長南町行政組織条例
税務住民課、保健福祉課の分掌事務を見直し、税務住民課、福祉課及び健康保険課を置き、より住民にわかりやすい行政サービスを行うため、条例の一部を改正するものです。

●長南町個人情報保護条例
個人情報保護の保護に関する法律等の改正に伴い、個人情報保護の定義の明確化と要配慮個人情報の定義を追加するため、条例の一部を改正するものです。

●職員の育児休業等に関する条例
地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、非常勤職員の育児休業期間の延長を可能とするため、条例の一部を改正するものです。

●議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例
●長南町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例
●長南町一般職の職員の給与等に関する条例
●長南町一一般職の職員の給与等に関する条例
●人事院勧告等を踏まえ期末手当の総支給月数（4・3月分／年）から4・4月分／年に改正）等を改正するものです。



●議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

反対

和田 和夫議員

引き上げの必要はない
住民目線で考えたら
引き上げの必要はないと
考え反対します。

賛成

左 一郎議員

議会議員の手当も一定
の水準で

人事院等の勧告に基づき一般職及び特別職の期末手当の引き上げ、合わせて議会議員の期末手当の引き上げを行うものです。議員も生活を営む一員でもあり、議員においても一定の水準であるべきと考えます。

●長南町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正

反対

和田 和夫議員

引き上げの必要はない
住民目線で考えたら
引き上げの必要はないと
考え反対します。

賛成

御園生 明議員

一般職との均衡を考慮
人事院勧告等に基づき、一般職との均衡を考慮するなかで期末手当の年間支給割合を改定するものと思料されますので賛成します。

●特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例
介護保険法の改正により、専門医の設置が必要となり、認知症サポート医の職を追加し、小中一貫校設立委員会設置条例の失効によりこれにかかる職を削除するため、条例の一部を改正するものです。

●諸収入金の督促手数料及び延滞金の徴収並びに滞納処分に関する条例等

分担金、使用料、手数料等の税外収入について督促手数料を廃止するもので、関係する6つの条例を一括して改正するものです。

●長南町国民健康保険条例
●長南町後期高齢者医療に関する条例
国民健康保険等の一部を改正する法律が公

部を改正する法律が公

布され、国民健康保険法及び高齢者医療の確保に関する法律の一部改正が平成30年4月1日から施行されることに伴い、条例の一部を改正するものです。

●介護保険条例

平成30年度から32年度までの3年間で第7期介護保険事業計画期間とし、この間の保険料を定めるため条例の一部を改正するものです。

●長南町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例

●長南町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例
地域包括ケアシステム強化法の制定に伴い、条例の一部を改正するものです。

財産の無償貸付

●財産の無償貸付につき議決を求めることについて

旧西小学校の跡地活用について、長南町立小学校跡地活用方針に基づき、小学校跡地検討委員会や住民説明会、まちづくり委員会の答申を経て、事業予定者である(株)マイナビに、平成30年3月20日から平成35年3月31日までの約5年間、無償で貸付することについて地方自治法の規定により議会の議決を求めるものです。



(株)マイナビとの調印式

財産の無償貸付につき議決を求めることについて

反対

和田 和夫議員

契約書案を見せないのはおかしい

議会が議決するのに、(株)マイナビとの契約書案を見せられないのはおかしいと考え、無償貸付には反対します。

反対

加藤 喜男議員

優良企業への無償貸出しには疑問

耐震補強も施し、統合小学校としても十分機能した校舎です。圏央道へのアクセスも容易で、町民の貴重な財産を、町の活性化と発展の名のもとに年商1000億円の(株)マイナビに無償で貸すことに反対です。契約書案も示すべきです。

賛成

岩瀬 康陽議員

積極的に企業誘致を

地域活性化、雇用創出、地域住民の行うイベント協力、地域交流ゾーンを設け地元目に向けている点、維持管理費の軽減、新たな財政負担を伴わない無償貸付が望ましいと考えるので、賛成します。

賛成

御園生 明議員

経済波及効果が期待できる

(株)マイナビの進出により、地元雇用の創出や観光事業への経済波及効果が期待でき、安定財源の確保、また大手広告企業でもあり本町の情報発信や農業等の活性化にも大きく貢献すると考えられ、賛成します。

補正予算

○一般会計(第5号)

1億6707万1千円を増額

事務事業の精算と人件費の減額及び財政調整基金積立金の追加などを補正するもので補正後の総額は46億5651万2千円です。

○国民健康保険特別会計(第2号)

7799万8千円を増額

退職被保険者等療養給付費の追加などを補正するもので補正後の総額は14億2108万6千円です。

○介護保険特別会計(第3号)

4631万5千円を減額

保険給付費の減額及び平成28年度超過交付となった国庫支出金の返還金などを主に補正するもので、補正後の総額は10億3200万円です。

○笠森霊園事業特別会計(第2号)

240万円を減額

事務事業の精算を行うもので、補正後の総額は8312万4千円です。

○農業集落排水事業特別会計(第1号)

386万3千円を増額

主に汚水処理場及び中継ポンプの修繕料を追加するもので、補正後の総額は2億1446万3千円です。

○ガス事業会計(第1号)

人件費及び受注工事費、台風により被災した施設の修繕費を増額するもので、補正後の総額は収益的収入6億7851万5千円、収益的支出6億7481万9千円、資本的収入3675万円、資本的支出2億1681万1千円です。

道路線の 廃止・変更・認定

道路線の廃止では、芝原地先において1路線が道路として用途不同となるため廃止するものです。

道路線の変更では、小生田地先の橋梁架替工事など改良事業実施に伴い、7路線を変更するものです。

道路線の認定では、南総広域6号線（広域農道）の町道への移管により認定するものです。



町道に認定した広域農道

人事案件

◆人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

平成30年6月30日で任期満了となる富澤勝彦氏（本台）を引き続き選任したいとして提案され、適任と認める旨の答申をしました。

氏名 富澤 勝彦 氏
住所 長南町本台



他に、手嶋知絵子氏（坂本）、市原尚子氏（豊原）、渡邊文良氏（小沢）の3名が任命されています。

議員発議

●千葉県循環器病センター（鶴舞病院）の存続を求める意見書（御園生 明議員外3名提出）

千葉県循環器病センターは、千葉県内屈指の循環器病の基幹病院として、また、総合病院としての機能も備えていることから、市原市南部地域住民のみならず本町や長生郡市等近隣市町村の地域病院としての役割も担っている。

しかし、千葉県は、「県立病院新改革プラン」において、人口密集地域から遠いことや入院患者数の減少を問題提起しており、存続が危ぶまれている。したがって、千葉県においては、これまで同様の医療サービスが提供できるよう現在地において千葉県循環器

病センターの存続を強く要望するため、千葉県知事に対し、意見書を提出するものです。



病院局長に意見書を提出する板倉議長

●長南町議会委員会条例の一部を改正する

条例（御園生 明議員外3名提出）

長南町行政組織条例の一部を改正する条例が可決されたことに伴い、総務常任委員会及び教育民生常任委員会の所管する事項について改正するものです。

平成30年 長南町議会第1回定例議会 議決結果

議案番号	件名	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
		議決の結果	林 義博	小幡 安信	岩瀬 康陽	御園生 明	松野 唱平	河野康二郎	森川 剛典	大倉 正幸	板倉 正勝	左 一郎	加藤 喜男	丸島 なか	和田 和夫	松崎 剛忠
議案第1号	長南町放課後児童クラブ設置条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
議案第2号	長南町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
議案第3号	長南町農地中間管理機構関連土地改良事業に係る特別徴収金に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○

議案 番号	件 名	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
		議決の結果	林 義博	小 幡 安信	岩 瀬 康陽	御 園 生 明	松 野 唱平	河 野 康二 郎	森 川 剛典	大 倉 正幸	板 倉 正勝	左 一 郎	加 藤 喜男	丸 島 なか	和 田 和夫	松 崎 剛忠
議案 第4号	長南町行政組織条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
議案 第5号	長南町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
議案 第6号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
議案 第7号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	×	×	○	○	○	○	－	○	×	○	×	○
議案 第8号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
議案 第9号	長南町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	×	○
議案 第10号	長南町一般職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
議案 第11号	諸収入金の督促手数料及び延滞金の徴収並びに滞納処分に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
議案 第12号	長南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
議案 第13号	長南町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
議案 第14号	長南町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
議案 第15号	長南町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
議案 第16号	長南町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
議案 第17号	財産の無償貸付につき議決を求めることについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	×	○	×	○

議案 番号	件 名	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
		議決の結果	林 義博	小 幡 安信	岩 瀬 康陽	御 園 生 明	松 野 唱平	河 野 康二 郎	森 川 剛典	大 倉 正幸	板 倉 正勝	左 一 郎	加 藤 喜男	丸 島 なか	和 田 和夫	松 崎 剛忠
議 案 第18号	長南町道路線の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
議 案 第19号	長南町道路線の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
議 案 第20号	長南町道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
議 案 第21号	平成 29 年度長南町一般会計補正 予算（第 5 号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
議 案 第22号	平成 29 年度長南町国民健康保険 特別会計補正予算（第 2 号）につ いて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
議 案 第23号	平成 29 年度長南町介護保険特別 会計補正予算（第 3 号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
議 案 第24号	平成 29 年度長南町笠森霊園事業 特別会計補正予算（第 2 号）につ いて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
議 案 第25号	平成 29 年度長南町農業集落排水 事業特別会計補正予算（第 1 号） について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
議 案 第26号	平成 29 年度長南町ガス事業会計 補正予算（第 1 号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
議 案 第27号	平成 30 年度長南町一般会計予算 について	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	－	○	×	○	×	○
議 案 第28号	平成 30 年度長南町国民健康保険 特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	×	○
議 案 第29号	平成 30 年度長南町後期高齢者医 療特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	×	○
議 案 第30号	平成 30 年度長南町介護保険特別 会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	×	○
議 案 第31号	平成 30 年度長南町笠森霊園事業 特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
議 案 第32号	平成 30 年度長南町農業集落排水 事業特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
議 案 第33号	平成 30 年度長南町ガス事業会計 予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
諮 問 第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦につき 意見を求めることについて	適 任 と 認 め る	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
発 議 第 1 号	千葉県循環器病センターの存続を 求める意見書提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
発 議 第 2 号	長南町議会委員会条例の一部を改 正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○

○は賛成、×は反対、議長は賛否に加わらないため「－」で表示

ここが聞きたい！

一般
質問

7人の議員が一般質問を行う

第1回定例議会の第2日目に一般質問が行われ、7人の議員が町政について質問しました。
件名について掲載いたします。

松野唱平 議員

- ☐ 国民健康保険の状況等について

和田和夫 議員

- ☐ 国保の都道府県化について
- ☐ 米の作付について
- ☐ 道路整備について

丸島なか 議員

- ☐ 町民の健康増進について
- ☐ 学校給食について

小幡安信 議員

- ☐ 町の公共交通機関の見直しについて

河野康二郎 議員

- ☐ 指定文化財について

岩瀬康陽 議員

- ☐ 医療費の抑制について

加藤喜男 議員

- ☐ 旧西小学校の貸出しについて
- ☐ 定住人口の減少について

町
政
を
問
う

一般質問は、質問者本人の原稿を基に掲載しています。
詳しくは、議会ホームページの会議録をご覧ください。

国民健康保険の状況等は

負担率は 16.74%で県内 4 位



松野唱平 議員

問

国民健康保険制度は、疾病な

どに対する保険給付を行うための財源を、被保険者が納める保険税を主体としておりますが、町の医療費水準が高いことにより、所得に占める税負担率が高いと言われているが、県内での現状はどうなのか伺います。

税務住民課長

千葉県内における長南町の現状において、所得に占める税負担率は、平成28年度は16.74%県内では4位となっております。

主な変更点は

問

平成30年度からの主な変更点について伺います。

医療費の財源確保の心配がなくなる

税務住民課長

保険給付費などの推計事務を県が行い、市町村は国保事業費納付金を納付し、その代わりに県は保険給付費を交付することになるので急激な医療費の財源確保の心配がなくなります。

保険者努力支援制度

また保健事業計画第2期がスタートするので、保険加入者の健康増進のための保健事業の実施及び評価を行います。

保険料は県内統一か

問

都道府県において、保険料の

県内統一の議論があるようですが、千葉県の状況について伺います。

統一化を図る目標年次は定められない

税務住民課長

医療費水準の違いや、保健事業の取り組みの違い、また収納率の格差など市町村の個別課題があるため、統一化を図る目標年次は定めず引き続き検討して行くことです。

平成30年度の税率は

問

平成30年度からの保険税率の

基本的な考えは、県全体の保険給付費などによる収入を控除して算出した保険必要額を基に、県が市町村ごとに割り当てる国保事業費納付金の額に、保健事業費などを加えて保険税を算定するようですが、現在の状況から平

成30年度の税率の考えを伺います。

保険税率の上昇を避けたい

町長

現在の保険税率につきましては、医療費水準が高いことにより、税負担が高い状況にあると考えます。

医療費水準を改善するためには、平成30年度から補助金を活用し、保健事業に重点をおきまして、医療費適正化を図るための取組みを実施してまいります。

平成30年度の保険税率につきましては、退

職療養費交付金が増額交付されますので、それを財源に保険税率の上昇を避けたいと考えております。

町全体で保健事業を

問

町の保健事業は、健康管理部

門においても実施しており、国保で実施する保健事業を単独で実施せず、町全体での保健事業と捉えることで、保険税の圧縮、また費用対効果が期待できると考えますが、町長の見解を伺います。

課を新設し取組む

町長

平成30年度から国保部門でも保険者努力支援制度に保健事業の指標が示されており、健康管理部門と重複する保健事業も多い内容となっております。

今回の国保の改革の年に併せて、平成30年度から全住民の健康全般を対象とした課を新設いたしまして「町民の健康づくり」に取組んでまいります。

保険税の据置きはいつまでか

保険税は平成32年度まで据置きたい



和田和夫 議員

問

国が国保の都道府県化の激変

緩和として全国で1700億円、千葉県で13億円を投入しても長南町の保険税が引き下がりません。なぜこのようなことが起きるのか伺います。また平成30年度の保険税については据置きをするのでしょうか。国は財政的な援助とあわせて保険者努力支援制度で各市町村を競争させ、順位づけをして医療費を削減させようとしています。保険者努力支援制度への対応について伺います。さらに新しい課は

どのようなことに力を入れていくと考えているか伺います。

税務住民課長

長南町の医療費水準が県下でも常に上位にあることが大きな理由です。国保事業費納付金算定基礎の医療費水準は、前年度以前3カ年の実績から県が算定します。平成32年度までは繰越金、県からの補助金等を活用して保険税率は据置きたいと考えています。保険者努力支援制度の指標では、被保険者の健康づくりから町民の健康づくりへと国保事業の役割が拡大されています。新しい課において、評価指標を実行できるよう保健事業に創意工夫を重ね、その結果、最終的に保険給付費を下げることに繋がりたいと考えています。

ます。米の直接支払交付金の復活要請を

問

農家に出され

ていたコメの生

産調整に10aあたり7500円の支払交付金の平成28・29年度の実績は。また、直接支払金は農家の赤字を補填して確実に収入が見込まれるもので、国に対して復活を要請してほしいと思います。町の考えを伺います。

平成29年度までの制限措置として実施

産業振興課長

直接支払交付金は平成28年度1715万9千円、平成29年度1765万5千円です。国の施策として平成29年度までの制限措置として実施されてきました。

大型車の通行が危険な街中の道路の迂回路を

問

圏央道の開通

で街中の道路は

大型車が増え、非常に道幅が狭く大変危険な状態です。街中を大型車が通行しないよう、役場と長南インターを結ぶ都市計画道路（長南バイパス）の建設促進をすべきと思いますが、町の考えを伺います。

建設環境課長

千葉県は長生グリーンラインの整備を優先

長南バイパスについては、現在も事業は凍結の状態で進展はございません。県では、長生グリーンラインを優先して整備が行われていることから、町道利根里線に接続されるよう要望書を提出しました。これが事業化され、



町道利根里線と接続する長生グリーンライン

平成31年度の開通目標とされていますので、街中の大型車の混入については、大型車の迂回により多少軽減されると考えております。

町民の健康増進について

実施可能なものから実施します



丸島なか 議員

問

新生児の聴覚障害や聴覚異常

の早期発見・早期治療を目的として聴覚検査があります。既に地方交付税措置されているとのことですが、本町の実情と今後の考えを伺います。また、園児・児童・生徒の虫歯予防対策として「フッ化物洗口事業」がありますが、町として取り入れる考えはあるか伺います。

保健福祉課長

町では本年度から千葉県において、行政・医療・医師会等の関係機関からなる検討会が設置され議論されてお

り、その中で、市町村の在り方が示されるので、これをもって対応します。

また、フッ化物洗口事業は、平成30年度から、保育所年長児を対象に実施予定で、この年長児が、小学校1年生になる際に、洗口を継続することで対象を拡大していく予定です。

歯科健診・歯周病健診の実情は

問

歯周病に罹る
と心疾患や糖尿病・認知症などのリスクが高まるなど、歯が早く抜けることで健康寿命にも大きく影響するそうです。妊婦の方は特に大事と言われていますが、妊婦歯科健診はどのようになっていますか。また、高齢者の歯周病健診の実情と後期高齢者の口腔機能低下や肺炎等の疾病

を予防するために75歳になった方を対象に1回のみ無料で健診を行っていますが、実施状況を伺います。

保健福祉課長

妊婦歯科健診は、助成を行っており、母子手帳交付時に勧奨を行っています。

歯周病健診は、実施していません。又、実施予定もありません。

受診率向上に努めます

税務住民課長

後期高齢者の歯科健康診査は、28年度に比べ29年度は、6・28ポイント増えています。町として受診率向上に努めます。

学校給食費の無料化について

問

大多喜町では町の柱は、「人材育成」と「少子化対策」と決断し、小・中学校給食の完全無料化を打ち出しました。長南町では、4小学校が統合され1校となり、輸送費も約半額となりました。給食の無料化は、保護者の教育費の負担軽減が図られ、行政側も未納者対策業務や給食費の精算事務が不要になるメリットもあると思いますが、考えを伺います。

学校教育課長

学校給食法では、学校給食に必要な施設や設備又は、人件費等は、設置者の負担で、食材費については、保護者が負担すると規定されています。よって、食材費は、給食費でお願いしたいと考えています。



巡回バス事業のあり方について

存続していく考えです



小幡安信 議員

問

一部では、過疎化自治体の無駄遣いの象徴とも言われている、乗客の乗らない巡回バスのあり方について、考えをお聞

きします。

企画政策課長

昨年、町では地域公共交通網形成計画を作り、その中で巡回バスのあり方について、町民アンケート等を頂きまして存続していこうと捉えています。

問

現在までの巡回バスの利用者数の推移、デマンドタクシーの利用者の状況は

クシートの利用者数の推移と、赤字の状況をお伺いします。

平成20年度をピークに減少

企画政策課長

巡回バスは平成20年度の1万3119人をピークに減少し、28年度は4973名、今年度は平成30年1月までは2356名です。今年度の減少は小学生のスクールバス利用が要因と分析しています。28年度までの累積赤字は約1億5千万円です。デマンドタクシーについては、年々利用者数が増加し、28年度は9502名、今年度は1万人を超えると見込んでいます。赤字は約3000万円です。

デマンドタクシーと一本化できないのか

問

デマンドタクシーをもっと自由に使えるように、制限を設けない形で一本化する事は出来ないか。巡回バスの実証実験をいつまで続けるのかお伺いします。

補完軸と支線軸という位置付け

企画政策課長

実証実験はおおむね1年で、ある程度の方角付けをしていかなくはならないと考えています。また、デマンドタクシーは補完軸、巡回バスは支線軸というような位置づけで、それぞれの交通体系モードを組み合わせながら、ネットワークを組み立てていきたいと考えています。

巡回バス再編・見直しのポイント

(町では平成30年1月から下記を踏まえ実証実験を行っています)

- ・利用実態を踏まえ、迂回・遠回り区間をカット
- ・東地区コースにおける長南工業団地内バス停新設(通勤利用)
- ・西・東地区ともに病院の診療時間に合わせた時間設定
- ・坂本豊栄地区コースにおける路線バスとの(上永吉～茂原駅)接続実施
- ・長南蔵持地区コースにおける高速バス接続を利用者の多い時間に設定
- ・運転士の拘束時間・休憩時間を配慮した運行時刻設定

総延長	161.7km	(再編前との差)	-20.0km)
走行時間	5時間9分	(再編前との差)	-25分)
休憩時間計	5時間9分	(再編前との差)	+20分(夏季)+1時間5分(冬季))

文化財の位置付けと活用方法は

歴史文化を伝える貴重な財産



河野康二郎 議員

問

観光資源として文化財を活用するための環境整備を行う必要があります。指定文化財の位置付けと活用方法を伺います。

教育長

国県町の指定区分は、優劣ではなく、下位になるほど地域性が高まり、いずれもが町の歴史文化を伝える貴重な財産です。活用視点の1つは地域性で、その文化財が長南にあり、伝えられたということ。2つは個性で、歴史的、文化的な価値です。3つは専門性で、文化財の価値を見きわ

継承世代・児童生徒の育成に

地域の文化財の価値を学び、継承する世代の育成、地域の文化財保護や歴史に関心を持つて紹介したいと考える児童・生徒の育成に、文化財を活用する考えを伺います。

問

連続性と一体感を育てる

教育長

文化財の価値、意義を知った次の世代の育成が文化財行政の課題と捉え、ふるさと意識を高めるために学年や発達段階に応じた「郷

育」学習を進めています。古い時代の文化財が自分とつながり、自分がそれを次に伝える一人であるという連続性、一体感を育てることをポイントに、特色ある「郷育」学習プログラムをつくりたいと考えています。

活性化の資源として

町と町民のアイデンティティにスポットライトを当てることが町の活性化につながるかと考え、町の活性化の資源として、文化財を活用する考えがあるか伺います。

問

文化財マップ・公式サイトで

教育長

国の文化財を観光資源として着目して、地域の活性化に役立てようという動きを受けて、町でも文化財マッ



県指定史跡 油殿古墳群

プ、町公式サイトなどの情報発信の強化、説明板の新規・更新及び油殿古墳群の整備など、来訪者を意識した事業を実施しています。文化財を項目毎にグループ化し、ルートの設定を行い、歴史散策・学習のできる企画などを考えています。

助成制度の見直しを

問

(株)マイナビとタイアップするなど、総合的・計画的な取り組みや担当部署の所管を超えた連携が求められます。文化財の保護管理への助成見直しについて伺います。

修繕等のかかわりの中で

教育長

国では、文化財の観光資源としての活用に則した新たな助成制度が新設されています。この活用を視野に、文化財を次に伝える態勢を整えたいと考えています。町独自の助成制度については、文化財の修繕等のかかわりの中で、町の役割について考えています。

主要死因の順位と死因別医療費は

死因は老衰・心疾患・ガン疾患・
肺炎・脳血管疾患の順



岩瀬康陽 議員

問

本町は、高齢化率が40%に、

また後期高齢者も約21%を占めるようになりました。このため、医療保険財政の健全化に向けて、医療費の減少・抑制に取り組む必要がありますが、昨年度の75歳以上の主要死因の順位と死因別1人あたりの医療費、また併せて過去の順位も伺いたい。

税務住民課長

死因は、老衰・心疾患・ガン疾患・肺炎・脳血管疾患の順です。医療費は、死因の順位毎に78万円、85万円、240万円、124万円

老衰死と医療費の関係は

円、219万円となっています。また、平成27・28年度も同じ順位です。

問

老衰死の割合が高いほど医療費が低い傾向にあり、

また介護費も抑えることができるなどの調査結果がありますが、本町における、老衰死の医療費占有率と全死亡者の1人あたり平均医療費の関係を伺いたい。

税務住民課長

老衰死の医療費占有率は、平成27年度が約12%、29年度が約15%と上昇しています。死亡者全員からみた1人あたりの医療費は、29年度が143万円、27

年度が124万円と減少しており、老衰死の医療費占有率が上昇すると1人あたりの医療費が減少するので医療費の抑制に繋がると考えます。

集団健診と個別健診の負担金を同額に

問

町では高血圧や脳卒中等の生活習慣病を予防するため、特定健診を実施していますが、受診者の利便性向上と受診のきっかけを提供するため、集団健診（千円）と個別健診（二千円）の負担金を同額に、また受診率の低い世代に無料クーポンを配布すべきではないでしょうか。

税務住民課長

長生郡市の会議に提案したい

負担金は、医師会と郡内市町村で協議して、統一料金を決定しており、集団健診と個別健診では1人あたりの負担額が違うため差別化をしています。

また、クーポンの配布についても医師会や郡内市町村との協議が必要になるので、負担金の引き下げとあわせて、長生郡市内の会議に提案したいと考えております。

集団健康教育を実施すべき

問

医療費の抑制には、特定健診とガン検診の受診率向上が有効ですが、地域住民が一つになって、食生活の改善や生活習慣病の正しい知識と予

防に取り組むことも必要です。行政区単位で生活習慣病の予防対策や健康増進を図るため、集団健康教育を実施すべきではないでしょうか。

保健福祉課長

健康教育は、集団で取り組まなければいけないと重々思っています。現在、社会福祉協議会と協力して、集団教育の場のつくり方や健康増進に取り組む集団の増やし方、また実施方法などを検討しているところであります。

人口減少への町長の所感、 諸施策の状況は

優先順位を付けやれるところから



加藤喜男 議員

問

本町の定住人口も減少の一途をたどり、10年後は長柄町に抜かれる状況です。人口問題は、議会も知恵を出していく必要がありますが、この問題に関する町長の所感及び諸施策の実施状況、今後の取組みについて伺います。

町長

多くの課題があり、その総合的な観点で人口減少が進んでおり、なかなかその対策が難しい。将来に向けた地域が抱える課題を整理し、優先順位を付け、やれるところからやっていきたいと思っています。

ます。
若者の移住・定住対策に取り組んでいる

企画政策課長

交流人口の増加、子育て環境の充実、また若者の移住・定住対策等に取り組んでいます。特に若者の移住・定住対策は平成26年度から住宅取得の奨励金

制度を開始いたしました。延べ41件、144人の方に活用していただきまして、米満におけるサニータウン13区画の宅地分譲は、今年度に完売を見込んでいます。これらは効果があつた



分譲が進んだサニータウン米満

ものと判断しており、今後さらに移住・定住の環境整備に努めてまいります。

諸施策の点検・検証を行い人口減少に歯止め

企画政策課長

人口ビジョンでは2040年に目標を5500人としています。庁内組織の地方創

生総合戦略推進本部、同推進委員会で諸施策の点検・検証を行い、それを確実に進める事が人口減少に対する歯止め、抑制に繋がりますので、真摯に取り組んでまいります。

売却する選択肢はなかったか

問

旧西小学校を、求人情報サービスやUターン、移住促進、農業支援などの地域活性に取り組んでいる(株)マイナビに無償で貸出す計画を進めているようです。

同社からは、各種団体や外国人の取り込み、宿泊施設やカフェの運営のほか、本町の観光、農業特産品等の地域資源の掘り起こし、地元農家との連携による農業体験ツアー等の事業化。また、廃校利用という宣伝効果で、交流人口の増加を

目指すとの提案がありました。

これらの事業を行うには、宿泊への対応のためトイレの改造、厨房設備、風呂等の設置が必要とのことです。これらの改修を考えると、売却する選択肢がなかったのかどうか。また、賃貸借契約書案はいつ頃見ることができるか伺います。

無償貸出しの議案を提案しています

企画政策課長

買い取りたいという要望は受け付けておりません。したがって町としては、現在無償貸し付けによる使用貸借契約を議案として提案させていただいているところです。

契約書案をお示しするところ考えは今のところございません。

長南中学校3年
いしい こはね
石井 心羽さん



長南町の

若い力

長南中学校3年
なかむら まさひと
中村 仁人さん



私の夢

私の将来の夢は、学校の先生になることです。

私は職場体験で長南小学校へ行きました。そこで、子ども達の前で何かを教える、伝えることの楽しさや大変さを知りました。また、教師とは自分よりも他人のことを優先し、人の役に立てる職業だと

感じたのです。いつも私たち生徒のことを一番に考え、成長を支えてくれる先生は本当に格好よく、とても輝いて見えます。私は、先生になって子ども達を笑顔にしたいです。そのため、今自分のできることを精一杯行いたいと思います。

中学3年生としての抱負

私の3年生としての抱負は2つあります。

一つ目は、残りの学校行事に精一杯取り組みことです。3年生として、1・2年生を引っ張るとともに、自分とつてもすべての行事が最後になるので、悔いのないようになりたいです。

二つ目は、受験生として勉強にしっかりと取り組みることです。クラスの間と励まし合いながら、それぞれの目標実現に向けて頑張っていきたいです。

私は、長南中の3年生としての自覚を持って生活し、中学校生活の有終の美を飾れるよう頑張りたいです。

議会を傍聴して

みませんか？

めんどろな手続きはありません。1人でも団体でも傍聴できますので、ぜひお越しください。(3月定例議会の傍聴者は延べ8人でした。)

次回の定例議会は、
6月14日(木)から
開会の予定です。

放課後児童クラブ施設完成



昨年12月から中学校敷地内に建設していた放課後児童クラブ施設が3月末に完成しました。4月10日から使用開始され、児童の移動の安全が確保されました。平日の児童数は25名程度です。

編集のあとで

平成の元号が最終年となる平成30年度が始まりました。本号は第1回定例議会の内容を中心に編集しました。補欠選挙後初めての議会でも、議席も埋まり、新年度予算の審議も活発に議論されました。

平野町政の2期目も同時に始まり、「当分の間、副町長を置かない」など、町長の政策にも独自の考えが出てまいりました。私達議員の任期もあと1年足らずとなり、それぞれが今期の総仕上げとしてラストスパークトに入ろうとしています。

また、議員定数についての話し合いも進めており、次回の選挙前に一つの答えが出るものと思われまふ。議会だよりも更に紙面の充実に努めてまいります。
(大倉正幸)

長南町議会広報特別委員会

発行責任者	板倉正勝
委員長	加藤喜男
副委員長	河野康二
委員	岩瀬康陽
同	松野唱平
同	大倉正幸